



アルゴン加湿器が取り付けられている状態で、発光強度が低くなった。



アルゴン加湿器からアルゴンガスが漏れ、ネブライザの流量が変わっている可能性があります。

- 1.アルゴン加湿器を通さずに、ネブライザと装置を直接ガスホースで繋がります。
  - ・アルゴンガス加湿器の「TO NEBULIZER」からネブライザに繋がるコネクタを外します。
  - ・アルゴンガス加湿器の Inlet のガスホースを装置から外します。
  - ・ネブライザに繋がるコネクタと装置を直接ガスホースで繋がります。
- 2.プラズマを点灯します。発光強度が改善されれば、アルゴン加湿器を通した時だけ強度が低いことになります。
- 3.Oリングと容器の密着が緩く、アルゴンガスが漏れている可能性があります。しっかり締めても変わらない場合は、図のようにシールテープを巻くと有効です。



ご不明な点は、カスタムコンタクトセンターまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

FAX  0120-565-154

E-mail: [email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

<http://www.agilent.com/chem/jp>